

四條畷市の幼稚園・小中学校の耐震化状況について

耐震化の状況

平成25年4月1日現在

全棟数 2階建以上または 200㎡超		耐震化の必要なし			耐震化の必要あり			
		新耐震	補強済等	I s 値（二次診断）				
				I s < 0.3	0.3 ≤ I s < 0.7	未診断（一次診断含む）		
棟 50	校舎	39	16	23	0	0	0	0
	体育館	11	2	9	0	0	0	0
	計	50	18	32	0	0	0	0

（耐震化の必要のある幼稚園・小中学校ごとの耐震診断の状況は、別紙「耐震診断実施状況結果一覧」のとおり）

耐震化の状況説明

耐震化の 必要なし	新耐震	S57年以降の大規模な地震に対応した新耐震基準に基づいて建てられた建物
	補強済等	旧耐震の建物（S56年以前の旧耐震基準に基づいて建てられた建物）で、補強完了した建物及び二次診断の結果耐力があり補強の必要性がない建物
耐震化の 必要あり	旧耐震の建物で耐震化の必要のあるもの	

用語の説明

I s 値 (構造耐震指標)	建物の耐震性能を表す指標で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や経年劣化を考慮して階別、方向別に算出するが、そのうちの最小値を用いる。 0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省は学校では0.7以上に補強するよう求めています。0.3未満は大規模な地震（一般的に震度6強程度）により倒壊の危険性が高い建物とされています。
-------------------	--